

令和5年度弘前市立図書館協議会 会議録（第1回）

日時	令和5年8月8日（火） 14時00分～14時50分		
場所	弘前図書館2階 会議室	傍聴者	0人
出席者 (敬称略)	委員長 郡 千寿子 副委員長 高嶋 敬子 委員 鈴木 敏浩 委員 鎌田 猛 委員 境 江利子 委員 奈良岡 裕子 委員 田澤 京子 委員 田沢 一之 委員 関 光博		
欠席者 (敬称略)	委員 相馬 玲子		
事務局側 出席者	弘前図書館館長 黒滝 雅信 弘前図書館業務主任者 阿部 美子 生涯学習課長 原 直美 図書館・郷土文学館運営推進室長 山田 俊一 図書館・郷土文学館運営推進室主査 黒崎 みお		
配布資料			
資料1 令和4年度 各図書館利用状況 資料2 令和4年度 各種事業の実施状況 資料3 弘前市電子図書館の進捗状況等について 資料4 児童書読み放題パック [2023年度] 資料5 電子書籍リスト (一般コンテンツ) 資料6 弘前市電子図書館利用の流れ 資料7 弘前市電子図書館を使ってみよう			

次 第	
1 開会 2 議事 (1) 令和4年度弘前市立図書館の利用状況等について (報告) (2) 弘前市電子図書館の進捗状況等について 3 閉会	
会議内容 (概要)	
	開会
事務局	議事 (1) 令和4年度弘前市立図書館の利用状況等について (報告) (資料1、資料2に基づき説明)
館長	(補足説明) 基本的に、コロナ禍において、利用者の方々にはマスク着用、ソーシャルディスタンス等のご協力をいただいた上で、かつ、人数制限を設けながら、ほとんどの事業を行うことができた。 3年ぶりに開催した市民講座には多くの方にご参加いただき、大好評であった。一方で、ビブリオバトルは、バトラーの応募者がいなく中止となった。この事業に関しては、実施について検討をしたいと考えている。概ね、利用者数については、コロナ前に戻りつつあると感じている。今後、続いて説明のある電子図書館等の新たなサービス拡充にも努めていく必要があると感じている。引き続き、指定管理者として様々な企画を考え、市民の情報の拠点となるべく、図書館運営に努めて参りたい。
委員	質疑「避難訓練について」 昨年、避難訓練を実施したと思うが、資料2の「令和4年度各種事業の実施状況」に記載がないのはなぜか。
館長	今回の報告に関しては、図書館事業に関わる報告であり、施設管理に関する部分は表示されていないものをご理解いただきたい。

委員	<p>昨年の避難訓練を見学した感想と提案をさせていただく。</p> <p>提案は2点である。1点目は、昨年は職員だけの避難訓練だったが、今年も実施するのであれば、ぜひ図書館の利用者がいる状態で実施していただきたい。現実には即した訓練を行うべきである。</p> <p>2点目は、利用者を含めた訓練を実施するにあたり、「図書館では避難訓練を実施することがあり、その際は、職員の指示に従って行動してください」といった内容のチラシを設置し、利用者へ意識化させてはどうかということである。</p>
事務局	<p>昨年の避難訓練には、ご参加いただき、感謝申し上げます。</p> <p>避難訓練に、利用者の方にも参加していただきたいというご提案だが、利用者の方にも多種多様の事情があるため、一律に利用者を巻き込んでの避難訓練をすぐに実施するという事は難しい。職員だけの避難訓練であれば、利用者役を作って行うなど、手法について、市の他の施設の実施状況等を踏まえて、検討させていただきたい。今後、変更がある場合は、協議会の場でご説明させていただくということにしたいがよろしいか。</p>
委員	<p>他の委員のご意見も伺いたい。</p>
議長	<p>では、学校教育関係の委員から、代表してご意見を願います。</p>
委員	<p>効果的な避難訓練という、委員のご提案は、非常によくわかるが、現実的な問題として、静かに本を読みたいという利用者等のことを考えると、事務局が提案した方針で、今後検討して、できる形で実施していくことが良いのではないかと感じる。</p>
議長	<p>ご意見いただき、感謝申し上げます。他館の避難訓練の状況も含め、委員からのご提案が、現実的に実施可能かどうか検討した結果を、後日改めて事務局からご報告いただく、という形とさせていただきます。</p>
館長	<p>貴重な御意見、感謝申し上げます。チラシの掲示については、9月が防火月間であることから前向きに検討させていただく。</p>

議長	<p>では、避難訓練の件については、防災の観点から、施設の管轄のため、事務局へ預けるという形でまとめさせていただく。</p>
事務局	<p>議事（２）弘前市電子図書館の進捗状況等について （資料３、資料４、資料５、資料６、資料７に基づき説明）</p>
館長	<p>（補足説明） 内容については、今事務局から説明があったとおり、できるだけ簡単な操作で、便利に利用できるものではないかと思料する。 ここで、令和４年度第２回協議会での説明内容の訂正をさせていただく。 「よみ放題パックには音声機能がない」というご説明をしたが、正しくは、「音声機能がないものもあるが、ほとんどのよみ放題パックには、音声機能を有しているものが多い」ということであった。ここで、訂正してお詫び申し上げます。 また、もう一つ、朝読のコンテンツとして、「日本語と英語が選択できるものがある」とご説明したが、実際は、英語を選択できるもの、外国語を選択できるものは、現時点では販売されておらず、あったとしても、すべて日本語対応のみ、となっている。今後、多言語によるコンテンツが配信されるかもしれないが、この場で前回の説明を訂正させていただく。</p>
委員	<p>意見「学校での活用状況について」 私のほうから、学校での活用状況について、お話しさせていただく。 事務局からの説明にあったとおり、私のところには、学校へ通知されるより１０日程早く電子図書館利用についてお知らせいただいたため、個人として、１冊の電子書籍を読んだところである。非常に読みやすく、大変素晴らしいものだ、というふうに感じた。ただ、学校への通知が７月に入ってからの通知だったため、実際のところ、まだ子どもたちのところへは、電子図書館の説明が行きわたっていない、ということが正直なところである。これから夏休みが終わり、２学期に入れば本格的</p>

	<p>に活用を考えていく段階になるのではないか。</p> <p>このほかの課題として、電子図書館と並行して、弘前市では、A Iドリルという、各教科の電子ドリルでタブレットを使う取り組みが今年度はじまり、先生方がそちらへの対応も必要となっており、先生方の中には、得意な方もいれば、そうでない方もいるところである。</p> <p>私の学校でいえば、読み放題パックを全員が同じように読めるようになるまでは、と考えたときには、まだしばらく時間がかかると感じている。ただ、子どもたちさえ慣れてくれれば、非常に便利なもので、いつでも自分から開けるような内容になっているため、そのような状態になることを目指して、夏休み以降は取り組んでいきたいと思っているところである。</p>
<p>委員</p>	<p>意見・質疑「団体貸出等について」</p> <p>私自身は、パソコン系というか電子書籍というのは、あまり詳しくなく、よくわからないが、図書館事業である「対面朗読」の現状がどうなっているのか伺いたい。</p> <p>もう一つは、「団体貸出」について、なかよし会等、いろんなところへ実際の本をたくさん貸し出ししていると思うが、先だって、団体貸出専用の書棚を見たときに、本がずいぶん傷んでしまっていて、数的にあまり多くなかった。新しい本も入っていなかった状態だったと感じた。まだまだ電子書籍よりも実際の本を子どもたちが見ているほうが多いのではないかと思う。いま、電子図書館のほうに力を入れ、団体貸出の本や、朗読ボランティアの方々の需要等への力が薄く、弱くなるのではないかという気がするが、今後、実際に目の不自由な方への奉仕や、実際に本を読みたい子どもたちへの新しい本の提供というもののお考えはどうなっているのか伺いたい。</p>
<p>館長</p>	<p>1点目の、対面朗読の件については、近年のコロナ禍ということもあり、現在、需要がない状態であった。先だって、ボランティアの方とお話する機会があり、その中で言われたのは、施設のアシスト機能を含めて、一度ご相談したいということであった。いわゆる、障がい者の方が図書館に来るまでの点字ブロックが観光館駐車場から観光館側の入口にはな</p>

く、ワンサイドにしか設置されていないため、そちら側から来た場合はどうしたらいいのか等、そういったことも含め、今後の図書館の利活用について、ボランティアの方々や、障害者施設の代表の方も含め、一度ご相談にあがるということで、お話があったところである。こちらに関しては、弘前市とも連携した形で、ご相談あるいは要求等に、可能な限り応えていきたいと考えている、ということをご報告させていただく。

2点目の、団体貸出については、逆に需要が伸びており、また、春先に入れ替えが多いこともあり、枯渇した状態の書棚をご覧になったかと推察する。一定期間を過ぎるとまた、別の団体へ貸し借りということを行っているため、常時あるというわけではなく、適度に入れ替えを行っている。予算に関しては、減額していることはない。ただ、本に関しては、若干値上がりしている傾向にある。このため、数的には、もしかしたら減少する可能性はあるが、むしろ、団体者数が増えているため、電子図書館のために予算を減額するということは全くない。このことに関連しては、さまざまな団体があり、一部の団体で本の扱い方が手荒いところが見受けられ、いくぶん本が傷んでしまっていることに苦慮しているところである。こちらの件については、今後、「本は大事に扱いましょう」といった周知をしていく必要性を感じているところである。

質疑「実施事業の再構築・学校図書館訪問事業について」

委員

2点お聞きしたい。

一つが、今の電子書籍や読書バリアフリー、対面朗読に関連して、障がいのある方もない方もすべてに、図書館の読書の推進をとという社会の流れの中で、新しいこともどんどん増え、対応しなければならないが、今までのことも蔑ろにできない。その中で、やはり、人手不足や、職員の働く環境も、どんどん厳しくなっていると感じる。令和4年度の実施状況を拝見して、新しい事業も始まっているが、計画の中で、何か減らせる事業、減らす予定のある事業というものはあるか、ということをお聞きしたい。

もう一つが、学校図書館の関係で、県の事業でも学校に訪問しているが、その際に、市の司書の方にも同行してもらおうことで、現状を見ていただきながら、市の小・中学校との連携をとっていただくということでお声がけさせていただいている。今回、実施状況の中の「学校図書館訪問事

<p>館長</p>	<p>業」において、学校図書館に2校ほど行かれているということだが、今年度も実施予定なのかどうかということと、差支えなければ、その2校がどこなのか、というところもお聞きできればありがたい。</p> <p>ご意見感謝申し上げます。</p> <p>事業をどれかスクラップアンドビルドするかということについては、検討もしているところである。先ほど述べたビブリオバトルなどは、青森県の県民性からか、参加が少なく、無理に参加を募ると、今度は学校の先生方の負担が増えてしまうため、これをどう考えていくか等、総合的に考えたうえで、スクラップアンドビルドまでいかないが、指定管理期間の中で、最大のパフォーマンスを出せるよう、何年かに1回やるといったこと等を検討していくことを考えている。今般、絵本作家の講演会を開催したが、こういったものも、毎年ではないにせよ、利用者の方にも飽きられないような形で実施できるように考えて参りたい。</p> <p>学校訪問事業については、今年度も実施予定であり、学校に依頼済みである。この目的としては、学校の先生方のスキルアップ、図書の整理をどうすればいいか、もっと効率的なやり方がないかということへのアシストであることから、県と一緒に、連携してやっていきたいと思っているところである。学校からの依頼がたくさん来てしまった場合、順番性となってしまう可能性もあるが、新人の方や、今まで申し込んだことのない先生を優先して、支援をしていきたいと考えている。対応できるスタッフも限られていることから、その中で、最大限の支援をしていきたいと思っているところである。</p> <p>なお、「学校図書館訪問事業」の2校は、東小学校と和徳小学校であった。</p>
<p>委員</p>	<p><u>質疑「電子図書館の利用について」</u></p> <p>電子図書館について、実際に私も眺めてみたが、児童生徒向けの歴史ものやマンガといった、各ジャンルが充実していると感じた。各学校での利用状況は2学期にならないとわからないということで、その結果を待ちたい。郷土資料については、ねぷたに関する書籍が1冊だけということで、予算や著作権の関係もあると思われるため、今後、少しずつ充実させていくしかないと感じたところである。</p> <p>ちなみに、電子図書館は県内では弘前市だけが実施しているものか。</p>

館長	一番初めは、おいらせ町で、次に三沢市、そして次が県立だったと記憶しているが、その間、中泊町で学校向けの電子図書館を始めたということがある。そして今、弘前市が実施ということで、県内では、まだ5例である。
委員	青森市、八戸市では、まだないということか。
館長	青森市、八戸市では現在のところ実施はされていないようである。ちなみに、郷土資料の充実についてだが、現在、県内の作家に、ミニエッセイを依頼したり、弘前市にも文学者が多くいることから、郷土文学館へ昔の文学者についての書籍を依頼したりしているところである。少しずつではあるが、中身を充実させて参りたいと考えているところである。
委員	<p>意見「電子図書館について」</p> <p>いただいた資料を4回ほど繰り返し読んだが、事務方や図書館関係の方が、これを行うことがどれほど大変だったかと思い、読んでいる途中で感動したところである。たとえば、海外でも機器さえあれば、メキシコに居ようがアメリカに居ようが、弘前図書館の本を借りられるという、こんな素晴らしいことがあるのか、ということ、感動して、資料を読ませていただいた。今後も一步一步、頑張っていたきたい。</p> <p>閉会</p>